

美術作家にとって、師と仰ぐ人物との出会いは、時にその後の作品制作に大きな影響を与えます。それは作風や使用する素材、または制作に対する考え方など様々です。ここでは、現代イタリア彫刻の巨匠2人の作品と、それぞれに師事した日本人作家の作品を紹介します。

川原竜三郎は、1964年イタリアに留学し、ペリクレ・ファッツィーニのもとで学びました。ファッツィーニのアトリエを訪れた際、一枚の蠟(ろう)を渡されたことがきっかけで、川原は蜜ろうなどで原型を作って鋳造する「ろう型」の作品制作を試みるようになり、後に日本における「ろう型鋳造彫刻」の第一人者としての地位を確立しました。

平原孝明もまた1970年に留学し、フランチェスコ・メッシーナに師事しました。女性像を古典的な形態で表現し、様式美を極めたメッシーナのもとで学んだ平原は、形に対する感覚を研ぎ澄ましていきました。帰国後は、高村光太郎大賞展で連続受賞するなどの活躍を見せています。

異国の地で学び、師との出会いを通して自らの表現を追求した川原と平原。師の作品と共通する部分や、影響を受けてさらに独自の表現へと昇華させた部分など、師弟の作品の響き合いをお楽しみください。

### ■展示作品リスト

No. 作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質
1 川原 竜三郎	1940~2012	太陽と収穫	1977 (昭和52) 頃	49.5×58.5×32.5	ブロンズ
2 ペリクレ・ファッツィーニ	1913~1987	少年とカモメ	1940-46	124.6×83.4×137.9	ブロンズ
3 平原 孝明	1943~	飛んだ日 (エスキース)	1982 (昭和57)	96.0×37.0×58.0	ブロンズ
4 フランチェスコ・メッシーナ	1900~1995	エヴァ	1949	193.0×56.0×63.0	ブロンズ

### パブリックゾーン

令和7年 4月12日 ~ 4月 7日

No. 作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質
1 ウンベルト・マストロヤンニ	1910~1998	イダの肖像	1943	49.0×28.0×16.0	ブロンズ
2 エミーリオ・グレコ	1913~1995	ネレイス	1989	137.9×96.5×57.3	ブロンズ